

『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター養成講座実施要綱

第1 趣旨

広島県教育委員会作成の『親の力』をまなびあう学習プログラム（以下、「学習プログラム」という。）を活用した家庭教育講座等で学習を促進するファシリテーターの養成講座（以下、「養成講座」という。）を、市町（市町立施設を含む。）が実施するに当たっての必要な事項を定めるものとする。

養成講座修了者に対し、求めに応じて広島県立生涯学習センター所長名の修了証を交付するものとする。

第2 講座内容等

1 講座内容

基本的な講座内容は次のとおりとし、その実施パターンは、概ね(1)又は(2)によるものとする。ただし、市町の事情により、これらによらない場合は、別に協議するものとする。

区分	方法	内 容
基礎講座	講義	家庭教育の現状と課題 学習プログラムの概要
	演習Ⅰ	学習プログラム模擬体験講座（アイスブレイクを含む）
	演習Ⅱ	学習プログラム展開案の作成
応用講座	演習Ⅲ	グループワーク又は実習 ※実習の場合は、養成講座修了証被交付者が同行し支援
	まとめ	講座の振り返り

(1) 実施パターン1

基礎講座：半日、応用講座：半日

<基礎講座>

方法	時間	内 容
講義	30分	家庭教育の現状と課題 学習プログラムの概要
演習Ⅰ	90分	学習プログラム模擬体験講座（アイスブレイクを含む）
演習Ⅱ	30分	学習プログラム展開案の作成【説明】

※応用講座までに各受講者が学習プログラム展開案を作成する。

<応用講座>

方法	時間	内 容
演習Ⅲ	40分から90分 (1人当たり)	グループワーク又は実習
まとめ	10分	講座の振り返り

(2) 実施パターン2

基礎講座：1日、応用講座：半日

<基礎講座>

方法	時間	内 容
講義	30分	家庭教育の現状と課題 学習プログラムの概要
演習Ⅰ	90分	学習プログラム模擬体験講座（アイスブレイクを含む）
演習Ⅱ	120分	学習プログラム展開案の作成

<応用講座>

方法	時間	内容
演習Ⅲ	40分から90分 (1人当たり)	グループワークまたは実習
まとめ	10分	講座の振り返り

2 使用する資料等

『親の力』をまなびあう学習プログラム」説明用パワーポイント、リーフレット、ワークシート、学習のすすめ方、展開案作成シート、ファシリテーションチェックポイント、振り返りアンケート

3 講師

養成講座修了証被交付者、市町教育委員会等家庭教育支援担当者、県立生涯学習センター職員

第3 実施内容の届出

養成講座実施日の1か月前までに、別記様式第1号により、実施内容を届け出ること。

第4 実施報告

養成講座を完了したときは、修了者に対する広島県立生涯学習センター所長名の修了証の交付の必要がある場合は別記様式第2号により、必要がない場合は別記様式第3号により報告すること。

第5 修了証の交付

修了者に交付する修了証は、別記様式第4号のとおりとする。

第6 修了証の再交付・書換え

修了証の再交付を受けようとする者は別紙様式第5号により、書換えを受けようとする者は別紙様式第6号により申請すること。

附 則

この要綱は、平成22年8月25日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年8月10日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年8月8日から施行する。